

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通ネットワーク計画に基づく事業)

平成29年1月23日

協議会名： 松山市地域公共交通会議

評価対象事業名： 地域公共交通バリア解消促進等事業

補助対象事業者等	事業概要	前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	事業実施の適切性	目標・効果達成状況	事業の今後の改善点(特記事項を含む)
記載要領 【補助対象となる事業者等の名称を記載する。】	記載要領 【実施したバリアフリー化設備等整備の内容を具体的に記載する。】	記載要領 【過去に実施した類似事業又は先行事業の評価結果を反映させた場合は、その事業評価結果をどのように反映させて事業を実施したのかを記載する。】	記載要領 【A・B・C評価】	記載要領 【A・B・C評価】	記載要領 【必要に応じて、検証結果を踏まえて具体的な改善策を検討する。また、「目標・効果達成状況」において評価の対象とならない事項を中心に、事業の実施に関して特記すべき事項がある場合には、その内容を簡潔に記載する。併せて、より適切な目標設定について検討する。】
アトムタクシー株式会社	福祉タクシー車両の導入	需要に応じて福祉タクシー車両の導入を検討する。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	A 計画どおり目標を達成した。	特になし。
株式会社安信	福祉タクシー車両の導入	需要に応じて福祉タクシー車両の導入を検討する。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	A 計画どおり目標を達成した。	特になし。
伊予鉄道株式会社	ノンステップバス導入	計画通り事業を実施しているため、平成26年度末にて、国が示すノンステップバス導入比率の70%を達成しているが、今後も公共交通利用促進のため、引き続きノンステップバスを導入していく。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	A 計画どおり目標を達成した。	特になし。
事業実施の適切性 次の3段階で評価する。計画どおり実施されなかった場合には、理由等を明らかにする。 A...事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 B...事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった。 C...事業が計画に位置づけられたとおりに実施されなかった。			目標・効果達成状況 設定した目標ごとに、次の3段階で評価する。目標が達成できなかった場合には、理由等を分析の上明らかにする。 A...事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 B...事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった。 C...事業が計画に位置づけられたとおりに実施されなかった。		